

バイオ系のキャリアデザイン

就職支援 **OG OB** インタビュー編

Interview ①

日本たばこ産業株式会社 たばこ事業本部 R&D グループ R&D 企画部 (主任)

三田 智子

出身大学・卒業年度：奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 2010年 博士課程後期修了
博士論文タイトル：野生種スイカ (*Citrullus lanatus* sp.) における余剰エネルギーに対する光合成電子伝達系の制御機構の解析



現在の仕事について

◆担当職務・現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容・そこでのやりがい

入社後4年間は、葉たばこ研究所にて研究員としてたばこ新品種の開発などに従事していました。そこでは、自分自身でプロジェクトを立ち上げ、メンバーと一緒に結果を出していく、というすべてのプロセスがやりがいでした。

現在はR&D企画部に所属し、たばこの研究開発や技術開発を行うR&Dグループの総括業務を行っています。今はまだ仕事を覚えるだけで精一杯ですが、R&Dグループがより良い成果を出すためのお手伝いできれば、と思っています。

◆現在の会社・組織(アカデミアを含む)の魅力

やりたいと思ったことを比較的自由にできる、また自分の意見を言いやすい環境だと思います。

◆現在の就職を決めた理由

自分がやっている仕事(研究)が社会経済に貢献するという直接的な実感が欲しかったので、企業への就職を希望しました。

JTに入社したのは、面接時に感じた社内の雰囲気がアットホームで飾り気がなく、自分に合いそうだったことが決め手です。実際に入社してみると感じた通りの企業風土で、今のところはのびのびと自分らしく毎日を過ごしています。

◆将来設計(描けるキャリアパス)・挑戦したいと思っていること

今の段階で私はまだ明確なキャリアプランを決めていませんが、海外出張やJT Internationalのメンバーとの長期研修を経験したことで、最近では「海外で働く」という選択肢にも現実として興味を持ち始めています。

◆社会人として一番感動したこと

尊敬している先輩に仕事面で認めてもらえた時。

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

まだそれほど大きな困難に直面したことはないですが、悲観的にならずに楽しんで困難に立ち向かえれば良いなと思います。

◆仕事のプロになるコツ

人からの受け売りですが、「物事の本質を見る」「自分の意見を持つ」「柔軟性・謙虚さを忘れない」などはどんな仕事をする時も大事なことだと思います。

◆博士力、どこで発揮していますか?

研究に関する基本的な知識や経験は、もちろん日々の研究業務に活かされていましたが、学生の時の研究内容そのものが直接業務に役立つことはほとんどなかったように思います。それよりも、学生時代に厳しく鍛えられた「一つのことに対して深く考える」「物事を論理的に考える」「自分の考えを持つ」「相手に伝わるように説明する」といったような力の方が、入社後の自分の強みになっていると感じています。

人生について

◆何のために働くのですか?・ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

根本的に考えると、生活費を得るためです。しかし、仕事をする上での私のモチベーションは、お金というよりも、仕事がかうまくいった時に周りの人と一緒になって喜べる達成感・充実感や、もっとこんなことをしてみたいというワクワク感などだと思います。

◆ワークライフバランスで工夫していること

勤務時間中は集中して仕事に取り組み、なるべく残業せずに効率的に仕事を終わらせるようにして、夜は自分の好きなように過ごす時間、というようにメリハリを意識しています。

後輩へ

◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること

不自由なく自分の意見が言える程度まで英語を話せるようになること。

研究だけでなく、もっと世の中に興味を持つこと。

◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

今の環境を精一杯楽しんで過ごしてほしいと思います。

連絡先 E-mail: satoko.sanda@jt.com



出身大学・卒業年度

：大阪大学大学院工学研究科応用生物学専攻・2003年博士前期課程修了

博士・修士・卒業論文タイトル：アルギン酸カルシウムマイクロビーズによる巨大DNA分子のデリバリー

現在の仕事について

◆担当職務

- ・研究本部の中期計画および年間計画 / 目標の策定とPDCA サイクルの管理.
- ・研究本部内での重点施策の立案およびその運営.

◆**現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容**
(2003年-2011年) 医薬研究本部探索研究センターにて *In vitro* 化合物評価系の構築および分子スクリーニングを担当.

(2011年-現在) 本部長室研究戦略グループ

◆そこでのやりがい

「探索」という研究業務を通じて、さまざまな新薬候補化合物の第一発見者になることができました。自分の出した結果をもとにプロジェクトが大きくなっていく過程を見ることができたとき、自分の存在意義と結果責任を強く感じました。

◆現在の会社・組織 (アカデミアを含む) の魅力

弊社は日本発のグローバルカンパニーとして大きな改革の真っ只中にあります。新しい挑戦に常に挑み続ける姿勢は、社内外からも評価されているところだと思います。

◆現在の就職を決めた理由

製薬会社での研究職は、研究と医療を結びつけるプロセスに携わることができる働きがいのある職種だと純粋に思いました。日本の産業の活性化に貢献したいという思いもありましたので、内資系の企業への就職を希望していました。

◆将来設計 (描けるキャリアパス)

私は現在、専門職大学院でMOT (技術経営) を学んでいます。研究者と経営者の橋渡しとして活躍できるよう、実務を含めてマネジメントの全般を学べるよう、さまざまなポジションを経験したいと思っています。

◆挑戦したいと思っていること

MOTでの研究を通じて、社外の人脈を積極的に広げ、精神的にタフになれるよう努力したいと思っています。

◆社会人として一番感動したこと

皆家族のために仕事しているのだと実感したこと。

◆社会人として一番困難だったこと & どう乗り越えましたか

研究成果が出ないというか、実験自体を成立させることができず、白黒つけることすらできずに前にも後ろにも

進まないときはやはり苦しいです。巨額の投資判断の期日が迫るとなさらずです。自分(あるいは自分のプロジェクト)は、上の上から見れば所詮ちっぽけな存在であると割り切って、冷静になることが大切です。

◆仕事のプロになるコツ

「学ぶ」→「実践する」→「教える」のサイクルを、定期的に回し続けることでしょうか。自分の専門外の世界に足を踏み入れて学ぶ姿勢も時には大切です。

◆理系人材力, どこで発揮していますか?

製薬会社の研究部門では、サイエンスがビジネスになっていますから、理系の知識なしには仕事できません。生物工学会に参加して勉強させて頂くこともあります。

人生について

◆何のために働くのですか?

誰かの役に立ちたいと思う気持ちがあるからなのでしょう。それが顧客 (患者さん) であれ、同僚であれ、プロジェクトメンバーであれ、誰かに感謝されるということを常に期待しているのだと思います。

◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

より明るい未来に向けて投資をするためだと思っています。薬の世界も同じです。今の薬の売上でもって、未来の薬の研究開発が行われているのです。

◆ワークライフバランスで工夫していること

スケジュール管理は、仕事とプライベートの混同を許容しています。実はこの方がWLBは改善されます。

◆現在の夢

小さくても自分の会社をもつこと。

◆将来の展望

60歳で社長。60歳まで常に右肩上がりです↑↑

後輩へ

◆**学生時代にやっておいたらよかったと思えること**
国際的な恋愛。

◆**その他なんでも、後輩に伝えたいこと**

私にとっては、後輩の皆さまから学ぶべきことが多々あります。機会があれば、いろいろとご教授くださいますようよろしくお願いいたします。

連絡先 E-mail: atsushi.mizukami@takeda.com